

ロボット支援前立腺全摘術に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2020年5月21日～2022年3月31日

〔研究課題〕

地域病院におけるロボット支援前立腺全摘術の周術期成績の学習曲線に関する後ろ向き研究

〔研究目的〕

地域病院におけるロボット支援前立腺全摘術の学習曲線について明らかにし、より安全な手術を行うことに役立てることを目的としています。

〔研究意義〕

帝京大学医学部附属病院では、泌尿器疾患の原因を明らかにし、より有効な治療法を開発することを目標として、さまざまな研究を行っています。このような研究活動の基礎になるのが、患者さんの診療録(カルテ)の情報です。患者さんの診療録に記録されている各種の臨床情報、検査結果、治療内容と経過などの医学情報は、病気の解明のために大変貴重なものです。当科では、東京都墨田区の地域病院である同愛記念病院と共同で、同愛記念病院を受診された患者さんを対象として、診療録に記録されている情報を解析し、患者さんの診療に役立つ情報を取得し、医学の発展に貢献したいと考えています。本研究では、過去に同愛記念病院でロボット支援前立腺全摘術を受けた患者さんの診療録を調査し、より安全な治療に役立つ知見を得ることを目的としています。

〔対象・研究方法〕

2014年10月より2019年3月までに、同愛記念病院で前立腺癌に対してロボット支援前立腺全摘術を施行された患者さんを対象としています。患者さんの患者背景(年齢、身長、体重、病理学的所見など)、治療経過についての情報を診療録より収集し、患者さんの個人情報を除いて匿名化し、各種の統計解析を行います。研究者は帝京大学医学部泌尿器科と同愛記念病院に所属する者に限られます。過去の診療録調査を調査するだけの研究ですので、患者さんの生命・健康に直接影響を及ぼすことはありません。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部泌尿器科学講座ならびに同愛記念病院泌尿器科

〔個人情報の取り扱い〕

氏名・生年月日・住所・電話番号・ID番号などの個人情報はすべて匿名化されてから解析されますので、個人情報がもれることはありません。研究成果は、医学の発展のために学会発表や学術論文発表などをさせていただきますことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報はすべて削除いたします。また、研究対象に該当するか否かにより、実際の診療内容に影響はすることはありませんし、研究にご協力していただけない場合でも診療上の不利益を受けることはありません。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:金子智之(帝京大学医学部泌尿器科学講座講師)

研究分担者:中川徹(帝京大学医学部泌尿器科学講座主任教授)

住所:東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表)〔泌尿器科内線 33709〕